早瀬野ダム流域の水田水温と気温・日照時間の関係（１９９８年）

早期警戒情報においては、気温・日照時間・降水量が冷害危険度地帯別に過去７日間の移動平均で示されています。これらのデータと水田水温（午前９時測定）との関係を整理してみました。早瀬野ダム流域にもっとも近い監視地点アメダス弘前を使用しました。

１９９８年度は前半では水温測定が週２日、後半では日単位での測定が始まりました。水温に関しては前半では過去７日間の移動平均値を計算できないため、週２日のデータと過去７日間の移動平均を用いて関係を図示することにします。

１）日最高気温と水田水温の関係（図１参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最高気温が２５度を超えたのは６月２８日。

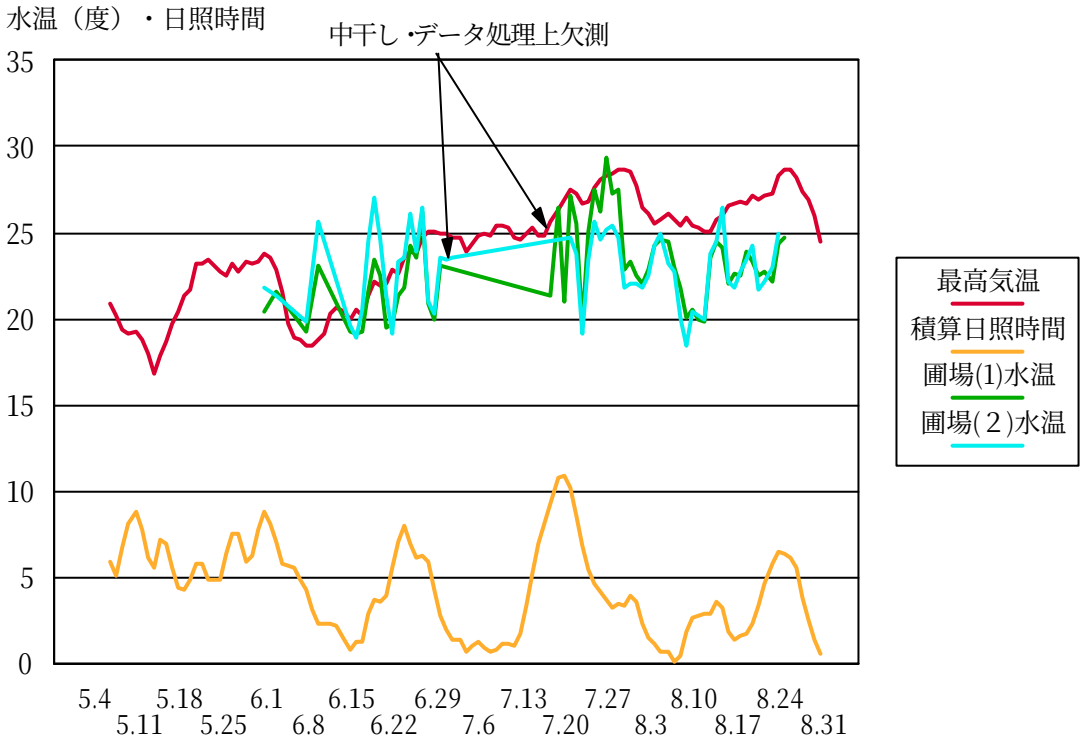

図１　アメダス弘前の最高気温と水田水温（午前９時）の推移
1998年度
過去７日間の移動平均

２）日最低気温と水田水温の関係（図２参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。最低気温が１７度を超えたのは６月３０日。

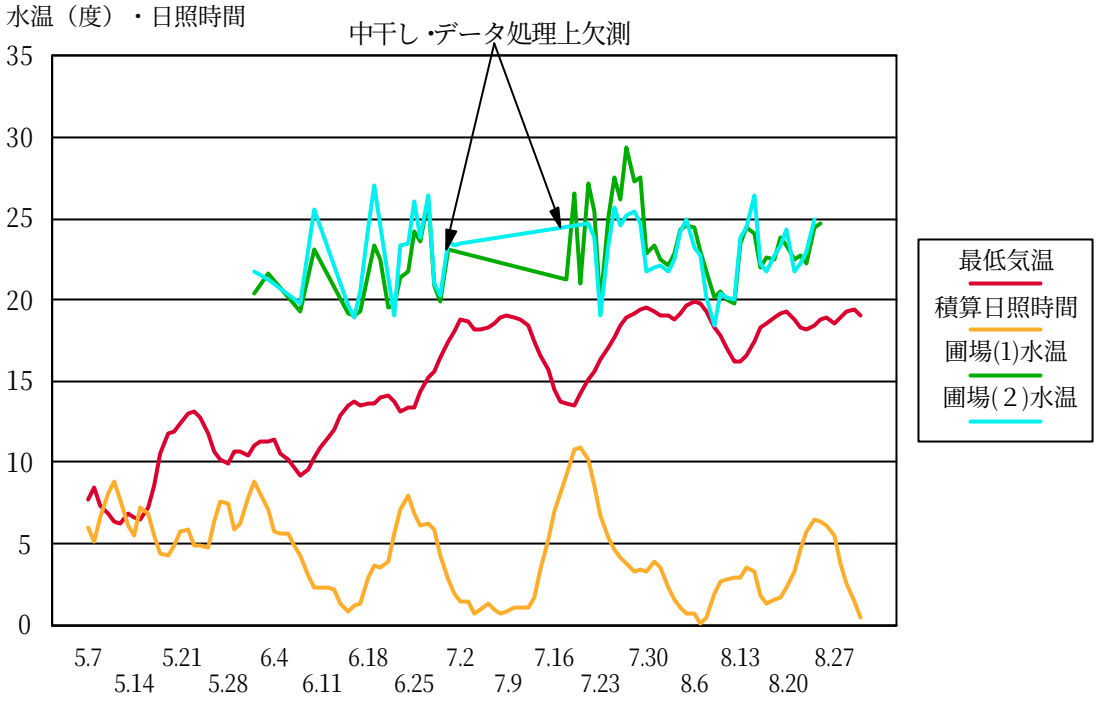

図２　アメダス弘前の最低気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９８年度
過去７日間の移動平均

３）日平均気温と水田水温の関係（図３参照）

水温データが少ないために、全体の傾向を読むことはできません。平均気温が２０度を超えたのは６月２９日。

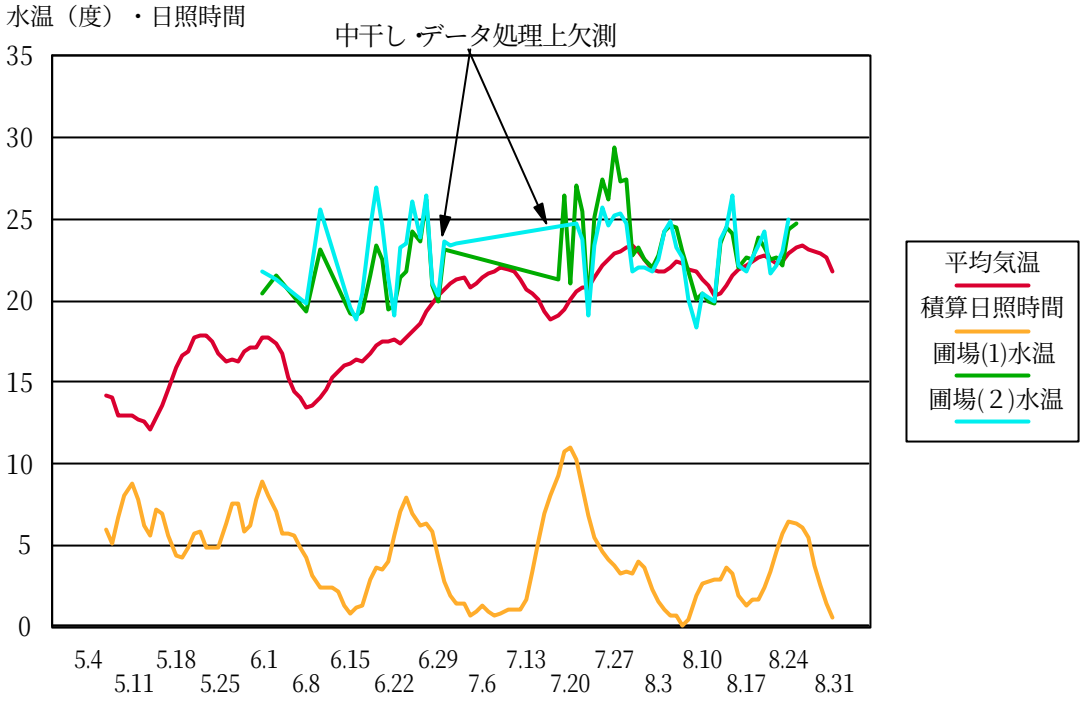

図３　アメダス弘前の平均気温と水田水温（午前９時）の推移
１９９８年度
過去７日間の移動平均